

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	福島県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	福島県双葉郡富岡町立富岡第二小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	3	3	3	3	1	21	30
児童数	110	99	111	101	88	110	2	621	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身に付け、進んで学ぼうとする子どもの育成

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

1～6学年・算数

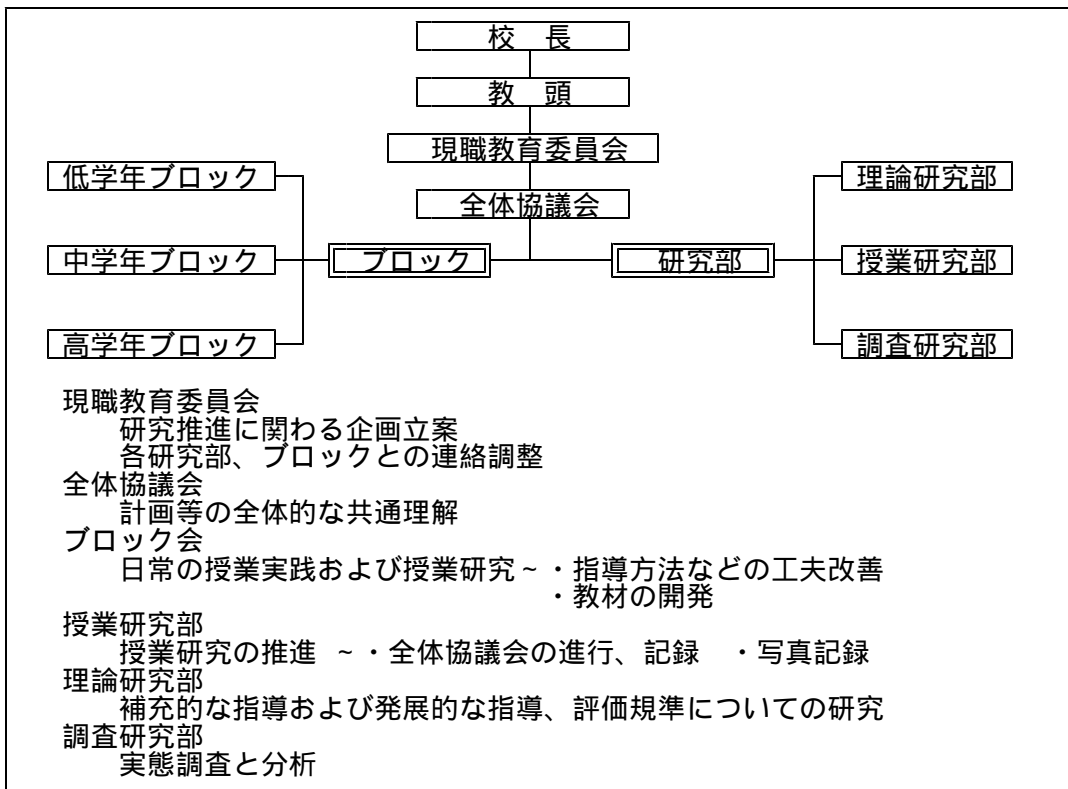
- ・学力差が大きく、児童の理解の状況に応じた指導が特に効果的な教科であると考えられるため。
- ・客観的なデータに基づいて成果や課題が分析しやすいため。
- ・当町でとり組んでいる「基礎学力向上推進事業」の教科の1つであるため。

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>テーマ ～ 確かな学力を身に付け、進んで学ぼうとする子どもの育成</p> <p>仮 説 「算数科において、児童の学びの実態を的確に把握し、一人一人に応じたきめ細かな指導を展開させれば、確かな学力が身に付き、進んで学ぼうとする意欲が高まるであろう。」</p> <p>研究の内容・方法 【内 容】 (1)基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための指導方法の工夫改善 児童の習熟度の的確な把握 基礎的・基本的な内容の確実に習得させる補充的な指導方法の工夫改善 (2)個に応じた学びの場・指導方法の工夫改善 効果的な指導形態の工夫 発展的な学習など、個に応じた指導のための教材の開発</p> <p>【方 法】 (1)理論研究 諸文献等により発展的な指導および評価基準についての理論研究をする。 発展的な学習等先進校の実践について学ぶ。 (2)実践的研究 研究主題・研究仮説に即した実践を積み重ね、研究を進める。 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫・改善 全体やブロックごとの授業研究を計画的に行い、研究を深める。 児童の変容と研究の成果および課題を常に明確にし、研究を深める。 (3)調査研究 児童の実態および変容をより客観的に把握するために、諸調査を行う。</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ ～ 確かな学力を身に付け、進んで学ぼうとする子どもの育成</p> <p>仮 説 「算数科において、児童の学びの実態を的確に把握し、一人一人に応じたきめ細かな指導を展開させれば、確かな学力が身に付き、進んで学ぼうとする意欲が高まるであろう。」</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>【内 容】 (1)基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための指導方法の工夫改善 (2)個に応じた学びの場・指導方法の工夫改善</p> <p>【方 法】 (1)実践的研究 (2)調査研究</p> <p>詳細については、検討中</p>
----------------	---

(3) 研究推進体制



## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究成果

#### 1. 意識調査から

今年度の7月と12月に、算数に関する児童の意識調査を実施。

(1)算数の学習が好きですか(全校児童に実施)

	(7月)	(12月)	
好き・どちらかといえば好き	83.9	83.4	(%)
きらい・どちらかといえばきらい	16.1	16.7	(%)

(2)算数の時間に、どんなやり方で勉強がしたいですか(2~6年児童に実施)

	(7月)	(12月)	
できるところは、どんどん先に進みたい	40.4	48.4	(%)
できないところをくわしく勉強したい	57.4	56.8	(%)
学習するところを選んで勉強したい	38.2	42.4	(%)
2人の先生がいるところで勉強したい	24.8	23.7	(%)

児童の算数の学習に対する好き・きらいについては変化があまり見られない。学習の進め方については が増えていることから、「コース別学習」に対する児童の積極的な姿勢の表れであると考え。なお、 については、5・6年生の児童が多く希望しており、高学年における補足的な学習の期待の表れと考えられる。

#### 2. 実践から

コース別学習について

「習熟度別学習」という名称に抵抗感を持つ児童・保護者が多かったため、いろいろな機会を通してそのよさを説明し、理解を求めてきた。また「コース別学習」として、児童自身の選択の場を多くとり、より主体的に学習に参加できるよう配慮してきた。その結果コース別学習に積極的に参加する児童が増え、学習内容の理解が深まってきている。なお、NRTを1・2月に実施し、学力データを分析したい。

### 2. 今後の課題

(1)基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るための指導方法の工夫改善  
補足的な学習の効果的な展開  
授業時間外の指導の充実

(2)個に応じた学びの場・指導方法の工夫改善  
「コース別学習」の充実  
・効果的なコースの設定  
・児童自身による的確なコース選択

#### 学力等把握のための学校としての取組

・学力検査(NRT)	1, 2月
・知能検査	4月
・意識調査	7, 12月

#### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

・平成15年10月23日(火)	公開授業研究会
(会場)本校	
(対象)双葉郡内小・中学校	
・平成16年11月 下旬	公開授業研究会 開催予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無